

酪農基盤維持拡大特別対策の実施について

配合飼料価格は依然高値で推移している状況下、平成 24 年度第 4 四半期は米
国産大豆の単収改善等により大豆粕のシカゴ定期が軟化傾向になっていること
から「植物性たん白原料」は値下げ基調となっているものの、為替相場が円安
基調となっていることより、畜種平均で据え置き改定となっております。その
結果、配合飼料価格安定基金の補てん算出単価が第 3 四半期より減額になり、
酪農家にとって飼料コスト実質増となれば、生乳増産意欲に水をさすことが懸
念されます。

そこで本会は、生乳生産基盤の維持・拡大を目的に、平成 25 年 1 月 1 日～3
月 31 日までに出荷する、牛用配合飼料に対しトン当たり 1,000 円の対策を実施
いたします。

以 上